

民生環境水道常任委員会視察報告書

西田 智男

○神奈川県海老名市、座間市、綾瀬市（高座清掃施設組合）

高座クリーンセンターについて

○日時：令和4年11月4日（金）

【所見】

先進施設として稼働している高座クリーンセンターについて、常任委員会視察を行った。

高座クリーンセンターは、旧施設の老朽化に伴い、平成31年度に新しくじん芥処理施設（高効率ごみ発電施設、マテリアルリサイクル施設）が完成した。

高座クリーンセンターは、じん芥処理施設、水処理施設、環境プラザで構成されている。

じん芥処理施設のうち、高効率ごみ発電施設を視察した。ストーカ炉による焼却、ごみ発電施設の設置等、現在、本市で計画している新クリーンセンターに似た設備を具備しているため、非常に参考となった。

環境プラザは、市民交流の場が設けられた複合施設であり、多目的スタジオやキッチンルーム、展望室などの施設がある。特に、多目的スタジオは稼働率の高い施設であり、利用者の年代は20～40代とのことであった。特筆すべきは展望室である。展望室があることによって、クリーンセンターであることが一見認識しがたい外観になっている。クリーンセンターのイメージを高める設計であると思った。

その他、余熱体験施設である温水プールの視察をしたが、温水プールは、一部の小学校の授業において使用しているとのことであった。本市では、現在、老朽化した学校のプールを更新せず、その代わりに、プール授業において民間のスイミング施設等を活用している。高座クリーンセンターの例は、本市も検討していくべき事例であると感じた。

今回の視察は、本市の今後の新クリーンセンター整備計画を進めるにあたり、大変参考となるものであり、有益なものであった。